

羅 針 盤			方 策
評価対象	評価項目	具体的数値項目	
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	(1) グローバル人材の育成をめざし、特色ある教育活動を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携、企業連携、大学連携を体系的に計画し、生徒への参加を促す。</li> <li>・地元企業や、大学講師を招き、人材育成を目標とした講演会を実施する。</li> <li>・有意義な研修の機会にするため、家庭の負担を軽減する補助金等を活用する。</li> <li>・グローバル人材育成事業に関して地元企業と連携し、事前協議を重ね、生徒にとって興味のある内容にする。</li> <li>・グローバル人材育成事業に関して地元大学と連携し、独自のプログラムを実施する。</li> <li>・短期留学以外にも語学系プログラムを増やし、英語学習の充実を図る。</li> <li>・「総合的な学習の時間」を時間割外に設定し、地域連携、企業連携、大学連携を柔軟に行えるよう工夫している。</li> <li>・部活動への影響を最小限とするために、商業科の検定日に計画する。</li> <li>・長期休業期間の中で、部活動に影響の少ない期間に計画するとともに、参加意欲を高める講座内容となるように工夫する。</li> <li>・家庭の経済的負担を軽減できる工夫と内容の充実を図る。</li> <li>・外部業者のものをを用い、全国統一日またはそれに近い形で実施し、個々の学力を確認し、さらなる向上に努める。</li> <li>・会計科目と情報科目の類型選択制を実施し、授業内容の充実を図る。</li> <li>・一人ひとりが分かる授業を実践し、学力の定着に努める。基礎的、基本的な知識の習得においては反復練習させ、確認テスト等で確認し、習得に不安のある生徒については補習を実施する。</li> <li>・生徒自身が高い目標を定め、積極的に挑戦できる環境づくりに努める。</li> <li>・生徒の自由な発想や創造力を大切にし、それを実現させる技術と知識を習得させる。</li> </ul>
		① グローバル人材育成事業に関わる講演会を年3回以上実施している。	
		② 海外研修を希望する生徒が20名以上である。	
		③ 地元企業と連携したキャリア教育への取り組みについて、70%以上の生徒が満足している。	
		④ 地元大学と連携した取り組みについて参加した者のうち、70%以上の生徒が満足している。	
		⑤ 語学系の学習プログラムに参加した者のうち、70%以上が満足している。	
		(2) 普通科は、グローバル人材の育成を目指し、大学進学に向けて特色ある教育活動を実践している。	
		① 大学進学に対応できる学力を身に付けるために、年間10回以上の休日課外を実施する。	
		② 大学進学に対応できる学力を身に付けるための夏季課外、冬季課外の参加希望者に対する出席率が90%以上である。	
		③ 学習習慣の確立のために行う夏季学習合宿への参加者が30名以上である。	
		④ 大学進学に対応できる学力がついているかどうか、年間3回以上の実力テストを実施する。	
		(3) 商業科は、3年間を見据えた系統的な教育課程を編成し、商業科設置校として特色ある教育を実践している。	
		① 全国商業高等学校主催検定試験で、3種目以上の1級合格者が100名以上である。また、90%以上の生徒が、資格取得や課題研究の授業に積極的に取り組んでいる。	
② 日商簿記検定試験2級の合格者が10名以上である。ITパスポート試験の合格者が5名以上である。			
③ 商業で学習した内容を活用し、地域や産業界との各種商品開発やコンテスト等に積極的に応募し、3件以上採用されている。			

		<p>④ 授業中での取り組みや成果を、全校生徒に対して発表する機会を設けている。</p> <p>⑤ パソコン教室の実施など、生徒が学習した知識を生かして地域に貢献する活動を、1回以上行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題研究で取り組んだ内容を全校生徒に発表する。また、生徒研究発表会で成果の発表を行う。</li> <li>・学習した知識を外部の人に説明できるようなコミュニケーション能力の育成や、ホスピタリティマインドの育成に努める。</li> </ul>
	2 特色ある学校行事を行っていますか。	<p>(4) 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。</p> <p>(5) 毎朝実施している「朝読書」に主体的に取り組んでいると自己評価している生徒が、80%以上である。</p> <p>(6) 大規模販売実習の百貨市の来校者が、7,000人以上である。売上目標金額が、前年以上である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習、部活動、学校行事に積極的に取り組ませることにより、学校への帰属意識を持たせる。</li> <li>・全校生徒に配付する「図書館だより」に新着図書を掲載、教室掲示用として「朝読書おすすめ本」ポスターを作成する。</li> <li>・図書館資料の朝読書等での利用促進のため、携帯型貸出カードを配布し、広報をする。</li> <li>・実際データに基づいた分析を実施し、販売促進計画の充実を図る。</li> <li>・広報活動を活発に行う。</li> </ul>
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	<p>(7) 「授業が分かりやすい」と生徒の70%が答えている。</p> <p>(8) 資格取得に向けた指導に生徒の70%以上が満足している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通科の趣旨を理解し、高度な科目、専門的な科目に取り組むことの意義を理解できるようにする。</li> <li>・商業科の少人数制授業やチームティーチングを通じて生徒一人ひとりに目が届く授業を行う。</li> <li>・商業高校として、専門的な科目の学習に取り組むことの意義を理解させる。</li> <li>・簿記週間や情報週間を設定するなど、組織的な取り組みを実施する。</li> </ul>
	4 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	<p>(9) 1日あたりの平均学習時間が普通科は、3時間以上、商業科は、1時間以上である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通科は、進路実現に向けての目標を設定し、それに向かい学習に取り組む目的をはっきりと持たせ、家庭学習の定着を図る。</li> <li>・商業科は、適切な宿題や課題を課すように心掛け、学習教室の解放など、放課後等に学習ができるような環境づくりを組織的に行う。</li> </ul>
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	<p>(10) 生徒に関する情報交換の会議(学年会議、生徒指導部会議、教育相談会議)を月3回程度実施している</p> <p>(11) 生活指導(あいさつ、服装、頭髪等)を継続的に実施している。(服装・頭髪指導を年3回実施。登校時指導を年間継続実施。)</p> <p>(12) いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。</p> <p>(13) 部活動が充実していると評価している生徒が、70%以上である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に関する情報交換の場を学年会議・生徒指導部会議の中に位置付け、生徒の変化を早期に把握する。また、関連する分掌や職員全体にも早期に報告し、指導の連携と共通理解を図る。</li> <li>・各学期に2回以上の服装頭髪指導を行う。職員と係生徒による登校時指導(交通指導も含む)を毎月実施する。全校集会等を利用し、問題行動の未然防止の講話を行う。</li> <li>・「学校はいじめをゆるさない」ということを生徒に周知し、全職員共通理解のもといじめの発生しにくい環境作りに努める。</li> <li>・部活動紹介や部編成を実施し、積極的な加入を勧める。学習との両立ができるような計画的な活動を促す。</li> </ul>

		(14) 教育相談体制が充実していると思 っている生徒が70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談だよりを利用し、悩み相談や解決方法等を発信する。学期ごとにアンケートを実施し、生徒理解を深める。</li> </ul>
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	(15) 毎朝、朝食を摂る生徒が全体の70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健室を利用する体調不良の生徒に対して、朝食の大切さを指導し促す。</li> <li>・保健だより、授業及びホームルーム活動を通して、朝食の意義をさらに理解させる。</li> </ul>
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	(16) 学校から提供される進路情報が、役に立っていると考える生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師による講話および進路ガイダンスを、年間2～3回実施することで進学意識や職業意識の高揚に努める。</li> <li>・インターンシップや社会人講話、卒業生との懇談会などの行事を実施することにより、自己理解を深め、進路実現への意識を向上する。</li> </ul>
		(17) 生徒の将来の志望について理解している保護者が、全体の80%を占める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の進路希望調査を通して、生徒と保護者の考えを把握できるようにする。</li> <li>・PTA総会、進路説明会及び三者面談等の機会を活用し、生徒の進路希望について、保護者からの理解と協力が得られるように努める。</li> <li>・普通科では、学力分析資料を年間3回以上配布し、進路実現に向けた保護者の協力を促す。</li> </ul>
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	(18) 進路通信を年10回以上発行している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月ごとに「進路通信」を発行し、生徒、保護者へ適切な進路情報を提供する。</li> <li>・紙面の工夫を図り、大切な連絡や情報を分かりやすく掲載できるようにする。</li> </ul>
		(19) 進路に関する情報を自ら得ようと努めている生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動紹介や部編成を実施し、積極的な加入を勧める。学習との両立ができるような計画的な活動を促す。</li> </ul>
		(20) 目標とした進路を実現できた生徒が、全体の80%を占める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談だよりを利用し、悩み相談や解決方法等を発信する。学期ごとにアンケートを実施し、生徒理解を深める。</li> </ul>
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	(21) PTA総会等の出席率40%以上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA総会の企画で、学年別懇談会を実施する。</li> </ul>
		(22) PTA広報を「読んでいる」と答えた保護者が、全体の70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動の報告や中学校の記事など、学校の様子を積極的に取り上げる。</li> </ul>
		(23) 「学校の様子がよく分かる」と答えている保護者が、全体の70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や生徒の様子が分かるよう、Webページの更新を随時行い、新しい情報の提供に心掛ける。</li> </ul>
VI 環境に配慮した教育活動に努めていますか。	10 学校ISO14001を受け、環境教育に取り組んでいますか。	(24) 校内エコオフィス活動において、目標値を達成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示物、Webページにより、途中経過を公表する。</li> </ul>
		(25) 環境教育を理解し、実践できる生徒が全体の70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育活動、学校行事、講話により、エコ活動を定着させる。</li> </ul>
		(26) 学校ISO活動について、保護者の理解度が全体の70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA総会、学年通信及びPTA広報を通して、ISO活動の啓発活動を展開する。</li> </ul>

